



広島女学院同窓会 東京支部ニュース

編集・発行 東京支部役員会

2017. 11. 1
第70号

今年度の聖句

「そこではもはや、ユダヤ人もギリシャ人もなく、奴隷も自由な身分の者もなく、男も女もありません。

あなた方は皆、キリスト・イエスにおいて一つだからです。」 ガラテヤの信徒への手紙 3章 28節

創立 131 周年を迎えて

広島女学院中学高等学校 校長 星野晴夫

昨年10月、240人もの東京支部の皆様と創立130周年をお祝いしてから1年になります。当日、お元気にご挨拶くださった日野原重明先生が、7月に永眠されましたことは大変残念なことでした。先生の広島女学院との関係のきっかけとなった、父、日野原善輔先生の校長・院長就任は1930年でした。31年には満州事変、37年日中戦争、41年太平洋戦争という歴史を考えると、その在任12年間は日本の戦争への歩みの真っ只中だったと言えます。当時、排外・保守の傾向は特に広島では強く、予想される険悪な情勢に備えて、理事会は日本人校長をと、善輔先生に要請したのです。

この間、校地を自然の美しい五日市東端・八幡川川尻に求め、3万8千坪を購入しましたが、瀬戸内海の艦船の動向をスパイされることを恐れてか、突然軍は使用中止を強要し、これが牛田校地の購入へとつながりましたが、当時の苦労と危機感が感じられます。

『日清・日露の両戦役以来、軍都広島を意識は年と共に強まりつつあった。しかも、大軍港の呉も近く、「只事ではミッション広女の伸びる筈はない。』』と考へ、新校長の方針として、ますます「キリスト教主義」に徹することを土台に、美しい学風、気高い個性を養うこととし、教育の根本を、「自ら考える」「食べるようにして教えられる」「失敗を恐れなくて敢えて行く」の3点に置き、あの時勢の中でも地域から高い評価を受けられる人格と・教養の育成に力を入れたことが伺えます。『今は軍都広島と世は誇ろう。しかし、いつかは「学都広島」「文化の広島」と、我らが西日本に誇りうる日を見るであろうと、確信をもって時流と戦いつつ



精進したのである。』と先生は70年誌に記しておられます。その後、スパイ学校と揶揄されるなど更に厳しい状況に入る中でも、女学院教育の土台である礼拝は守り続けられました。

さて、この10月、高校2年生は沖縄修学旅行に行きました。72年前、日本本土決戦の捨て石とされ、想像を絶する激戦と悲劇を経験した沖縄での講演やフィールドワークで、語ってくださった現地ガイドやバスガイドの方々が、食い入る様に真剣に耳を傾ける女学院生の様子を目にして、生徒達との出会いを心から喜んでくださいました。広島にある学校の生徒としての自覚、平和と命に対する意識と感覚が生徒一人一人の内に育っていることを実感し、校長として生徒達を誇りに感じ、頼もしく感じました。今日の日本の動きに不安を感じつつも、厳しい時代に先達が女学院教育を守り、その歴史をつないでこられた精神は、131周年を迎えた今日も何かの形で確かに引き継がれていることを感じています。

皆様の歩みの上に神様の祝福をお祈りいたします。

ミャンマーの小学校建設支援について

かねてより清水富士子さん（高14）からミャンマーの小学校建設への支援の呼びかけがあり、これまで同窓生の皆さまにはさまざまな形でご協力をいただけてきましたが、この度、「広島女学院同窓会会員有志」の名前を冠した小学校が建設される運びとなりました。お礼を申し上げますとともに、まだ開校に向けて机・椅子・黒板などの備品を用意するための資金が必要とのことです。引き続きご協力をお願いしたいと思います。遠く離れたミャンマーの地でも「CUM DEO LABORAMUS」できますこと、清水さんが繋いでくださったこのご縁に感謝致します。



ミャンマーに行きませんか？

清水 富士子（栩木/高14回）

今から3年ばかり前、「ミャンマーに魅せられて」と題する私の拙文を東京支部ニュースに載せていただき、ミャンマーの貧しい村々に小学校を建設する活動を続けていらっしゃる、古庄重生さんのことをお伝えしました。その後、同窓会のクリスマス会その他のイベントで何度か皆様の前でお話する機会を与えられ、寄付金や子ども服などの寄贈をいただきました。中には毎年継続して寄付をよせてくださる方もいらっしゃいます。



このほど古庄さんから、女学院同窓会会員からの寄付金がまとまった金額になったので、他の寄付金と合わせて、来年小学校を1校建てたいとのご連絡がありました。既に14校が古庄さんのお力で建っていますので、これは15校目ということになります。私たちのごくささやかな支援がこのような形で具体化されるとは、うれしい限りです。

つきましては、来年その学校が出来上がりましたら、開校式に参加してほしいとのことです。これまでご支援くださった同窓会の皆さま、一緒にミャンマーに行きませんか？



時期はまだ決まっていますが、来年10月か11月ごろになると思われます。寄付をくださった方もそうでない方も、ご興味があればどなたでもご参加くださってかまいません。詳しいことは来年6月発行の東京支部ニュースでお知らせする予定ですが、まずは予告ということで、お考えになっておいてください。

最近では発展著しいミャンマーですが、小さな村々の生活はまだ貧しく、学校に行けない子供たちが大勢います。古庄さんの学校は授業料無料で、そんな子供たちが目をキラキラさせながら元気に学んでいます。何かを「与える」つもりで行って、かえって私たちが元気をもらって帰ります。

来年秋、一緒にミャンマーに行きましょう！

<ご寄付受付 ゆうちよ振替口座>

口座番号 00130-8-514766
加入者名 ミャンマーに学校を建てる会

お問合せ（清水富士子）
〒125-0033 葛飾区東水元 5-41-13
電話・FAX：03-3600-3012
メール greengarden@nifty.com

今年も銀座教会にて、同窓会関東ブロック主催の原爆死没者追悼礼拝を持ちました。同窓生以外の方も含め、約 200 名の方々にご参加いただき、夏雲の集い 30 回記念に相応しい会となりました。ご協力頂きました方々に心より御礼を申し上げます。

関東ブロック長 坂下 恵

夏雲の集いに参加して 高橋亜弓 (高 46)

2017 年 7 月 8 日 (土)、母校での 350 名の犠牲者を追悼し、原爆死没者追悼礼拝「夏雲の集い」が銀座教会で行われました。

30 回目となる今年は、第一部から第三部までの三部構成。「夏雲の集い」提唱者・故山本(秦)知子先生のご夫君でいらっしゃる俳優の山本學氏と、ギタリスト兼古先生のご共演をお聴きできることもあり、礼拝堂がいっぱいに埋め尽くされた中で始まりました。



第一部の追悼礼拝は、東京支部宗教委員の千代崎さんの司式。高橋潤牧師の説教では、苦しい局面の中で「残るものは何もない、たった『油の壺一つ』と祈り求めることが、今の時代に必要」と、求める大切さを改めて教えていただきました。

第二部は、楽しみにしていた山本學氏と兼古先生によるご共演。「葉っぱのフレディ〜いのちの旅〜」、「原爆詩」を通して、引き続きいのちに向き合う 1 時間半となりました。

朗読が始まるや否や、映像を観るかのように詩の世界に引き込まれてゆく不思議な感覚。マイク無しで響きわたる學氏の表現の迫力は想像以上で、ギター曲目もまるで今回の朗読に合わせて作曲されたかのよう。互いに「伴奏は嫌だ」とのお言葉通り、朗読とギターのバランスが新鮮で、丁寧かつ信頼溢れるあたたかいご共演に、聴衆も一体となって時間を忘れ経験を分かち合いました。

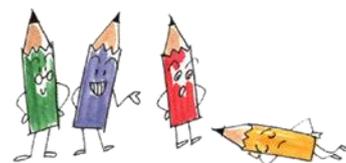
原爆詩朗読を「単に暗く悲しいだけでない違ったものにしたい」という學氏のお言葉にも、芸と人生の一端を見せていただいた気がしました。



第三部の懇親会は、広島から金信美幸先生、塩治副会長をお迎えし、山本學氏と兼古先生もお付き合いいただいていたおしゃべり。写真撮影も行われ、女学生のような盛り上がりでした。

私自身、「夏雲の集い」には初めて参加させていただきました。節目となるタイミングでの初参加に何か特別な思いもありましたが、生きることやいのちについて改めて静かに思いを馳せる、有意義な時間となりました。そして、同窓生との会話、個人的に部活動でお世話になった金信先生との思いがけない再会も。恩師や先輩・同窓生の活躍と元気な姿は、やはりかけがえのない支えですね。想像以上に感激と元気をいただきました。大変心に染みる一日をありがとうございました。





企業と人が輝けるように

平田香里 (高原/高校 47 回)



上京して15年、全く抜けない広島弁に今や堂々と語るカーブ愛。上京して改めて自分のルーツである広島に思いをはせるようになり、数年前より東京支部で役員の仕事に就いています。

私は高校2年時に、YFU 交換留学生として1年間、米国アリゾナ州の公立高校で学びました。当時の私は、高校卒業後は大学進学が当然と考えていましたが、アメリカの高校生は卒業後の進路が大変多岐にわたります。大学進学に加え、就職、地域の短大を経て4年生大学に進学、プロのテニスプレーヤーやダンサーになる。そういった様々な生徒の考えに触れることができ、多様性を認めるアメリカ社会を肌で感じることができました。私立小学校から広島女学院中学・高校と進学した私は、自分の考え方がいかに画一的であったかと、強い衝撃を受けたことを覚えています。

学び多き留学を実現できるよう後押しして下さったのがジェリー岡田先生や菱川先生、畑野先生、そして杉山先生など、尊敬してやまない英語科の先生でした。学内外のスピーチ・暗誦コンテストの前はかなり細かく発音指導して下さいたことは私の一生の財産となっています。

留学後、再び高校2年を履修し4年間の高校生活で友人が倍になったことも私の財産です。

卒業後の進路はかなり悩みましたが、再度の渡米に背中を押して下さったのは担任の杉山先生でした。思い返せば、女学院の先生方も生徒の個性や思いを尊重した進路指導をして下さったことで今の私があるのだと感謝しています。

大学卒業後は広島に帰りたい気持ちが強くなり、当時フォードの傘下であったマツダにUターン就職しました。マツダでは広報、IR に携わり、以来20年にわたり広報一筋に仕事をしています。

出産・育児でブランクはありましたが2015年に広報・広聴・イメージコンサルティングの会社を設立し、現在は主に企業の広報戦略の立案と実施に携わっています。加えて、企業や個人クライアントに対して「イメージコンサルティング」を行っています。耳慣れない言葉かと思いますが、イメージコンサルティングの発祥は1960年代のアメリカ。最も注目されたのはニクソン vs ケネディの大統領選でした。テレビ討論会が始まった当時、選挙戦後半に視聴者に直接TVで訴えることを意識し、与えるイメージを熟考して練られたケネディの装いや立ち居振る舞いが「くたびれたニクソン」vs「若々しくエネルギッシュなケネディ」というイメージとなり、大きく選挙の流れを変えたのです。

人の印象は「初頭効果」といって、最初の情報に引きずられる傾向があり、最初によりよい印象を相手に与えることがビジネスでもプライベートでも有利に働きます。第一印象を形成する最も大きい要素が視覚から得られる情報で、なんと55%を占めます。最も重要な視覚情報を戦略的にコントロールすることが成功を左右するといっても過言ではありません。

イメージコンサルティングでは『ABC : Appearance (外見) Behavior (立ち居振る舞い)、Communication (コミュニケーション)』の3点を整えるお手伝いをします。企業のエグゼクティブをはじめ、一般社員、新入社員、転職・就職活動の方向けに正しく戦略的なスーツの着こなし、ビジネスマナーなどをお伝えしています。

外見や立ち居振る舞いが邪魔をすると、本来伝えるべき重要な中身が100%伝わらないことが多々あります。人は外見だけではないと言いますが、外見で損をしているのはもったいないものです。

ビジネスとは関係のない個人コンサルティングでは、元々その方の持っている肌色や目の色、髪質などから、よりはつらつとした印象やエネルギーを感じさせる「パーソナルカラー診断」を行っています。「パーソナルカラー」を知ることによってシミやクマ、たるみなどの色調・形態トラブルを緩和させ、疲れて見えるような色味を避けることができます。カラーのみならず、立ち居振る舞いやコミュニケーション全般に関してもコンサルティングを行っています。

私が所属している国際イメージコンサルタント協会 (AICI) は米国に本部を置く国際認定資格を与える唯一の団体で、国際的なプロトコルや色彩学の基本、スーツをはじめとした装いの基本を問われる試験と実務経験の審査により資格認定

が行われ、認定後も継続的な学習と履修単位の取得が資格維持に必須となります。

独立した今、学び続け、スキルアップを図らなければ継続的な仕事につながらない緊張感がある中、大変やりがいを感じるとともに、一生終わることのない学びにチャレンジできることに深い喜びを感じています。起業の際、「社会や人のためになるビジネスをする、という信念がない会社は成功しない」という言葉をお聞きいただきました。女学院で学んだ「神とともに働く」を今の私なりに解釈するとすれば、自分よがりや自社の利益だけを追求するのではなく、真摯にクライアントのためを思って働くことなのではないかと感じています。



PRism | PR Consulting
Image Consulting

<http://prism-jpn.com>

新しい広島女学院大学始まる！

2018年4月、「ライフキャリア教育」を土台にした新学部・学科開設

人文学部（国際英語学科・日本文化学科）

人間生活学部（生活デザイン学科・管理栄養学科・児童教育学科）

2017 あやめの会 報告 ～ 両国ちゃんこ & 江戸東京博物館見学 ～

6月9日(金)、比較的過ごしやすいお天気に恵まれ、両国・霧島でのちゃんこ鍋、江戸東京博物館見学を楽しみました。高校8回から高校67回までの同窓生34名がちゃんこ鍋を囲んでワイワイ。つみれ団子、エビや帆立などの海産物がたっぷり入った鍋は食べごたえ十分でした。



その後、江戸東京博物館に場所を移し、世代ごとに4つのグループに分かれ、ガイドボランティアの方の説明を受けながら約1時間半、常設展示を見学しました。

6階でいきなり目に飛び込んできたのは迫力満点の日本橋の復原。実際に掛けられた橋と同じ木造で、幅は原寸大で再現されており、渡ることも出来ます。



5階と6階の常設展フロアは、大きく「江戸ゾーン」と「東京ゾーン」に分かれています。展示資料の目玉は当時の生活を再現したジオラマ。これがとても精巧で、細かな細工は芸術品の域！豊かな表情や衣服の模様まで繊細に表現された人形模型を見ていたら、一気にタイムスリップした気分になりました。実際に火消しの纏(まとい)を持って振ったり、行商の竿を担いだり、靴を脱いで籠に乗ることも出来るなど体験型の資料も多く、ガイドの方の説明の面白さも加わってとても充実した時間になりました。

そのあとも、少しの間ですが皆さんでお茶を頂きながらおしゃべりに花が咲き、楽しい時間を過ごしました。

松岡理乃(木沢/高30)

支部会費納入のお願い

会費納入へのご協力を有難うございます。
会費は支部ニュースの発行や年間の活動の経費として使わせて頂いています。

振替用紙が同封されていた方は、活動のさらなる充実のため、
会費(2,000円)の納入に是非ご理解、ご協力をお願いいたします。
同封の振替用紙の他に銀行振込もご利用いただけます。

<振込先> 三菱東京UFJ銀行 高田馬場支店
普通預金 0473771
広島女学院同窓会東京支部

80歳以上の方は会費免除ですが、お気持ちが有りましたらお願いいたします。
振替用紙には出来るだけ電話番号をご記入ください。

封筒の宛名ラベルに「*」が付いている方は今年度の会費を納入済みです。
手違いで振込用紙が入っていた際は、ご容赦ください。



日野原重明先生 ご葬儀



去る7月18日、日野原重明先生が105歳で逝去され、7月29日に青山葬儀所にてご葬儀が営まれました。

同窓会関東ブロックより弔電をお届けし、役員6名が参列いたしました。聖路加国際大学による

ご葬儀の参列者は約4000名とのことでしたが、大変静謐で温かいものでした。

昨年10月、広島女学院創立130周年を祝う会で、お元気に広島での青春時代のお話をさせていただいたお姿は、大変思い出深いものとなりました。

フォーレのレクイエムの流れの中、献花を終え、ご遺族の前に参りました際、祝う会にお付き添い下さったご次男の奥様の眞紀さまが私共を覚えて下さり、思いがけず、お声を掛けていただき一同感激いたしました。

先生が広島女学院に寄せて下さった深いご愛情に感謝しつつ、主の御許での永遠の安息を心からお祈り申し上げます。

櫻井 悦子 (瀬川/高23、文英5)

みんなの広場

・・・ 会費の振込用紙通信欄や支部宛のお手紙から ・・・

◆手作りの美しい敬老のカードを有難うございました。心のこもったメッセージに励まされました。

寺井伊都子 (高女52)、野邊英子 (高女52)
八木イブキ (大英1)、西尾 操 (高4、大英4)
山田玲子 (高5)、吉岡元子 (高6、大英6)
黒田景子 (大英6)、松山秋子 (高7、大英7)
野村朋子 (高8)

◆何時もお心に掛けて頂き、真に有難うございます。何のお手伝いも出来ませんが、90歳を迎え、足も自分の思うように動かなくなり、ご厚意に甘えさせて頂きます。 中原 順子 (高女51)

◆栄光在主。御奉仕下さり、心より感謝しております。ありがとうございます。

松尾 みどり (吉田/高7)

◆いつもお世話、ご苦労様。関西からこちらに来て6年近くになります。楽しみに支部ニュースを待っています。

筒井 暢子 (仙頭/高9、短大8)

◆カラー印刷になって見やすく楽しいです。先輩後輩がご活躍の記事に励まされ、充実した内容の支部ニュースが毎回楽しみです。

佐藤 美代 (長尾/高23)

◆夏雲の集いの山本學さんの詩の朗読はとても感動しました！『葉っぱのフレディ』は受け継がれるいのちを思い、また原爆詩の「おとうと」には思わず涙がこぼれました。この会の開催にはたくさんのご苦労があったと思います。本当にありがとうございました！

坂東 久美恵 (高橋/高19)



東京支部 クリスマス会

12月2日(土)

午後1時半～3時半(1時より受付)

日本基督教団 銀座教会

東京都中央区銀座 4-2-1

JR「有楽町駅」中央口下車 徒歩5分

地下鉄「銀座駅」下車 C6 または C8 出口よりすぐ

礼拝、茶話会

♪ クリスマスの讃美歌を歌いましょう ♪

※ 受付、茶話会準備など、当日“ちょこっとお手伝い”
して下さる方を募集しています

お問い合わせ：090-3689-5960 / e255884@gmail.com (小林)

神奈川支部 クリスマス会

11月29日(水)13:30～15:30

日本基督教団 藤沢教会(藤沢市花沢町2-5)

礼拝:黒田直人牧師

オルガンコンサート:黒田尚子さん(丸本 高31)

参加費:500円(お茶菓子代)

申込先:常泉 TEL/FAX 046-293-2836

千葉支部 クリスマス会

12月4日(月)10:30～14:00

新津田沼教会(船橋市前原西2-37-18)

礼拝、茶話会

スペイン巡礼の旅のお話(沖本陽子さん)

会費:1000円(お弁当代)

申込先:村中/携帯 090-1774-5200

編集後記

- クリスマス会には他支部の方の参加も歓迎します。どうぞお誘いください。
- 敬老の日に因み、80歳以上で会費を納めて頂いている46名の方々に東京支部役員
の松岡理乃さん手作りのカードをお送りしました。
- 前号より印刷通販を利用して、カラー印刷と印刷費軽減の双方を実現しました。
- ミャンマーと女学院中高の交流は、中高ホームページ“SGHブログ”をご覧ください。
- 同窓生の国際的な活躍が相次いでニュースとなりました。…サーロー節子さん
(7/7、核兵器禁止条約採択後の演説)、荊尾(かたらお)遥さん(1月より国連軍縮部
職員)、焼家(やきや)直絵さん(6月より国際連合世界食糧計画 日本事務所代表)、
前川佳遠理さん(オランダ公益財団法人 アジア太平洋戦争 日本関連史資料および
学術連絡支援財団 代表)。…同窓生の活躍の情報をお知らせください。
- 核兵器廃絶国際キャンペーン“ICAN”のノーベル平和賞受賞も嬉しいニュースでした。
- 湊院長の聖書研究会はあと2回:④11月25日と⑤2018年2月24日13:30～15:00
- 広島女学院同窓会関東ブロックはFacebookで情報を発信しています。ご覧ください。
- 東京支部から今後随時送信するメールによる情報をご希望の方は件名を「情報希望」
として東京支部のアドレスへメールを送って下さい。gaines_tokyo@yahoo.co.jp

天窓に木の葉貼り付き野分立つ
人恋ふや月明々と上り来る

薔薇そうび
(白井京子)